

(別紙1) 2024年度地方創生推進タイプ(先駆型、横展開型、Society5.0型)実施計画【新規事業】

1. 申請者情報

都道府県名	青森県	市区町村等名	弘前市	地方公共団体コード	02202		
担当部局名	観光部 国際広域観光課 DMO推進室			責任者名		責任者役職	
担当者名		電話番号		メールアドレス			

2. 交付対象事業の名称等

単独広域	交付対象事業の名称					
広域連携	デジタルマーケティングを活用した青森県津軽地域の観光地域づくり推進事業					
事業類型	横展開型	横展開型での採択希望 (先駆型、Society5.0型の場合)	後継事業	×		
事業分野 (大項目)	観光振興(しごと創生)	事業分野 (詳細)	観光振興(DMO)等の観光分野		事業分野	○
事業実施期間	交付決定日 2027年3月31日まで					

3. 地域再生計画の名称等

地域再生計画の名称		認定(初回)
デジタルマーケティングを活用した青森県津軽地域の観光地域づくり推進計画		新規
地域再生計画の区域	青森県弘前市、青森県黒石市、青森県五所川原市、青森県つがる市、青森県平川市、青森県鰺ヶ沢町、青森県深浦町、青森県西目屋村、青森県藤崎町、青森県大鰐町、青森県田舎館村、青森県板柳町、青森県鶴田町、青森県中泊町の全域	
計画期間	地域再生計画の認定の日 から 2027年3月31日まで	

< 入力チェック >

有識者対象 (先駆)	有識者対象 (Society5.0)	広域・単独	広域連携の 上限額	事業費	注意
-	-	○	○	○	

< 変更状況確認欄 > ※軽微変更報告の際に記載

最終交付決定日		軽微変更報告日	
---------	--	---------	--

連携地方公共団体数	14
-----------	----

< 連携地方公共団体 >

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体 コード	2024年度交付金 対象事業経費	2024年度交付金申請額 (左記の1/2)
1	青森県	弘前市	02202	13,441千円	6,720千円
2	青森県	黒石市	02204	2,868千円	1,434千円
3	青森県	五所川原市	02205	4,445千円	2,222千円
4	青森県	つがる市	02209	2,724千円	1,362千円
5	青森県	平川市	02210	2,724千円	1,362千円
6	青森県	鰺ヶ沢町	02321	1,040千円	520千円
7	青森県	深浦町	02323	931千円	465千円
8	青森県	西目屋村	02343	431千円	215千円
9	青森県	藤崎町	02361	1,541千円	770千円
10	青森県	大鰐町	02362	1,040千円	520千円
11	青森県	田舎館村	02367	931千円	465千円
12	青森県	板柳町	02381	1,326千円	663千円
13	青森県	鶴田町	02384	1,291千円	645千円
14	青森県	中泊町	02387	1,111千円	555千円
計				35,844千円	17,918千円

4. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

【将来像】

本事業の実施主体である地域連携DMO「(一社)Clan PEONY 津軽」(※1)の構成市町村である、津軽圏域の14市町村は、地方版総合戦略を策定し、それぞれの実情に応じたまち・ひと・しごと創生に取り組んできたところであるが、未だ少子高齢化や地域経済の衰退に歯止めをかけられておらず、構成市町村が将来にわたって活力ある地域社会を維持し、発展していくためには、地方創生の取組の更なる強化が必要となっている。

津軽圏域の14市町村はそれぞれ策定した地方版総合戦略において、国内外からの観光客誘致や国内外に向けた観光情報発信の強化など観光振興の取組を掲げているが、観光振興の取組は観光産業のみならず、物産や農林水産など地場産業全体の発展に寄与するものであり、雇用創出や地域経済活性化に加え、地域への誇りの醸成による若年層の定住促進や、関係人口増加など、広い波及効果を圏域全体にもたらすものである。

このことから、圏域の14市町村における地方創生を更に推し進めるためには、将来にわたり津軽地域が多くの観光客に選ばれ続け、関連事業者等が十分な収益を上げ続ける仕組みを構築し、持続可能な観光圏域となることが求められている。

本事業では、「津軽圏域が持続可能な観光圏域となること」を将来像とし、その実現のため「(一社)Clan PEONY 津軽」が津軽圏域の観光地としての魅力や誘客力、満足度の向上に取り組むものである。

【背景】

津軽圏域は青森県の南西部に位置しており、世界自然遺産「白神山」や日本百名山「岩木山」のほか、弘前城や斜陽館などの歴史的建造物、ねぶた(ねぶた)やお山参詣といった地域住民に永く親しまれる伝統的な祭り、津軽塗やこぎん刺しといった伝統工芸品、りんごをはじめとした農産物、マグロやサーモン、イカ、メバルといった海産物など、魅力的な観光資源に恵まれている。

津軽圏域全体に関わる、これまでの観光振興の活動としては、1976年に圏域14市町村により「津軽広域観光圏協議会」が立ち上げられたが、その後継組織として、2020年に圏域全体をマネジメントエリアとする「(一社)Clan PEONY 津軽」が設立され、観光地として全国的に知名度の高い弘前市を核として観光客を呼び込むため、近隣の4市(黒石市、五所川原市、つがる市、平川市)も含め周辺町村と連携して圏域全体の観光振興を推し進めている。

※1 2020年1月14日付 観光庁「日本版DMO登録制度」に候補DMOとして、2022年3月28日付 登録DMOとして登録済

B. 地方創生の実現における構造的な課題

「地方創生として目指す将来像」の【将来像】において記載したとおり、将来にわたり津軽地域が多くの観光客に選ばれ続け、関連事業者等が十分な収益を上げ続ける仕組みを構築し、持続可能な観光圏域となるためには、津軽圏域の観光地としての魅力や誘客力、満足度の向上に取り組む必要がある。

これまで、(一社)Clan PEONY 津軽は、圏域単位でのマーケティング調査、地域や特産品のブランディング、資源の発掘・磨き上げ、地域の観光人材の育成、観光プロモーションに取り組んできたが、2020年の設立後から以下の課題を抱えている。

【①観光戦略とターゲット層選定が不十分】

これまで(一社)Clan PEONY 津軽は、観光マーケティング分析による地域の客観的評価や潜在的観光客に対するターゲットを絞った効率的なアプローチ手法の検討・展開を十分に行えないまま、プロモーション等の事業を展開してきた。

この要因には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により津軽地域も観光客数が激減したため、地域のマーケティングデータを十分に取得できなかったことも挙げられるが、大きな要因は、(一社)Clan PEONY 津軽が、地域の観光関連データの一部しか吸い上げ切れていないというものである。既存の各種データは、都道府県単位でのデータ分析が多く、各市町村単位でのデータ分析ができないため、地域全体としての要因分析ができず、地域を訪れる観光客の属性や趣味趣向などを掴みづらいのが現状である。

【②マーケティング分析結果を事業者等に共有できていない】

事業者等が各自の事業を効果的に企画・実施するためには、デジタルマーケティング分析結果を意識した事業展開が有効であるが、上記①の理由により、これまで(一社)Clan PEONY 津軽は、マーケティング分析結果を事業者等に対して共有できていない。

加えて、事業者等は圏域全体の観光に関連するデータの知識や情報が乏しく、自社の経験や顧客データを頼りに事業展開している状態であり、津軽圏域を訪れた観光客のほか潜在的観光客に対しても、より効果的なアプローチができずに収益を高める機会を損失している可能性が高い。

【③旅行者にとって魅力的な観光コンテンツの造成力不足】

これまで(一社)Clan PEONY 津軽では、津軽地域を訪れた旅行者が旅ナカで予約できる体験型旅行商品など、オプションな観光コンテンツの造成・販売を進めてきたが、旅行者に「津軽地域を訪れたい」と思わせる観光コンテンツを十分に造成できていないのが現状である。また、昨今のインバウンド需要の高まりに応えられるインバウンド向けの観光コンテンツの造成力の強化や受入環境の整備も喫緊の課題である。

【④ターゲット層に向けた効果的な観光プロモーション手法が未確立】

これまで(一社)Clan PEONY 津軽では、自社ホームページでの観光情報発信のほか、JR東日本と連携した大型観光キャンペーンや大都市での観光プロモーション物産展等で、幅広い対象に向けた観光プロモーションを実施してきた。しかし、対象が広いがゆえに、当該キャンペーンやプロモーションでは津軽地域が誘客を狙うべきターゲット層に、情報が届きづらいという欠点がある。

情報関連技術の発展により、今や情報の発信媒体は多種多様であり、性別、年代、家族構成などにより閲覧される媒体は異なることから、より詳細なターゲット層の選定を行い、そのターゲット層ごとに効果的な手法で観光情報を届ける必要がある。

C. 交付対象事業の概要

(デジタル技術の事業への活用又はその普及等を推進する取組を事業に含める場合には、当該取組についても必ず記載)

「地方創生の実現における構造的な課題」に記載した①～④の課題解決に向け、以下(ア)～(ウ)の取組を実施する。

課題：【①観光戦略とターゲット層選定が不十分】

取組：(ア)(一社)Clan PEONY 津軽のデジタルマーケティング分析能力の向上及び分析結果を踏まえた観光戦略策定とターゲット選定

東北観光DMPシステムの活用を継続するほか、新たに旅行予約サイト運営事業者が集積した宿泊関連データ等分析ツールや圏域内宿泊施設毎の空室率確認・予測システムの活用、津軽地域の観光資源に関するGAP調査によりデジタルマーケティング分析に必要なデータを収集するとともに、マーケティングアドバイザーの支援のもとで客観的なデジタルマーケティング分析及び観光戦略策定・ターゲット選定に取り組む。

課題：【②マーケティング分析結果を事業者等に共有できていない】

取組：(イ)圏域全体の観光戦略やマーケティング分析結果の事業者等への浸透と、事業者間の交流・連携強化

(一社)Clan PEONY 津軽が観光関連事業者向けセミナー等を開催することで、津軽地域のデジタルマーケティング分析結果や観光戦略の浸透を図るほか、運用しているホームページや圏域事業者向けメールマガジン等を活用して、事業者間の交流・連携を強化する。

課題：【③旅行者にとって魅力的な観光コンテンツの造成力不足】

取組：(ウ)マーケティング分析に基づいた、新たな観光の魅力発掘や事業者等との連携による受入環境整備

デジタルマーケティング分析と観光戦略に基づき、津軽地域の強みを活かした特徴的な観光コンテンツ等の開発や、ターゲット層が満足に周遊できるような受入環境の整備を行う。

課題：【④ターゲット層に向けた効果的な観光プロモーション手法が未確立】

取組：(エ)ターゲット層への効果的な訴求手法を活用した面的な観光プロモーションの実施

マーケティングアドバイザーからの助言を参考に、細かくセグメントしたターゲット層に対して(一社)Clan PEONY 津軽が効果的な手法により圏域全体の観光の魅力発信や誘客促進施策を一括で実施する。

(C-1) マイナンバーカードの利活用案の具体的内容 ※該当がある場合

D. 交付対象事業が構造的な課題の解決に寄与する理由

(デジタル技術の事業への活用又はその普及等を推進する取組を事業に含める場合には、当該取組が構造的な課題の解決に寄与する理由についても必ず記載)

課題：【①観光戦略とターゲット層選定が不十分】に対しては、取組：(ア) (一社)Clan PEONY 津軽のデジタルマーケティング分析能力の向上及び分析結果を踏まえた観光戦略策定とターゲット選定により、津軽地域全体として観光に取り組む方向の統一と、地域における観光関連事業者の稼げる仕組みの確立につながる。

具体的には、東北観光DMPシステム等において、津軽地域を訪れた観光客の動態・消費行動や津軽地域に住む人々の観光施策や観光客に対する意識、県外から津軽地域がどれくらい認知されているかを図るデータを取得できる。

また、旅行予約サイト運営事業者が集積した宿泊関連データ等分析ツールや圏域内宿泊施設毎の空室率確認・予測システムを新たに活用することにより、セグメントごとの旅行者がどのような宿泊先を選ぶ傾向にあるか、宿泊施設タイプ別の季節ごとの宿泊キャパシティといったデータを取得できる。

さらに、GAP調査等によって県外からの津軽地域の認知度や観光資源に対する興味関心の傾向といったデータを取得できる。

また、取組：(ウ) マーケティング分析に基づいた、事業者等との連携による受入環境整備や新たな観光の魅力発掘により、行政や事業者など多様な主体の連携を深めて圏域の総力を結集することで、新たな観光価値の発掘や多種多様な観光コンテンツの提供など観光振興のプレイクスルーを起こすことにつながる。

課題：【②マーケティング分析結果を事業者等に共有できていない】に対しては、取組：(イ) 圏域全体の観光戦略やマーケティング分析結果の事業者等への浸透と、事業者間の交流・連携強化により、課題：【③旅行者にとって魅力的な観光コンテンツの造成力不足】に対しては取組：(ウ) マーケティング分析に基づいた、事業者等との連携による受入環境整備や新たな観光の魅力発掘により、行政や事業者など多様な主体の連携を深めて圏域の総力を結集することで、新たな観光価値の発掘や多種多様な観光コンテンツの提供など観光振興のプレイクスルーを起こすことにつながる。

具体的には、取組：(イ) 圏域全体の観光戦略やマーケティング分析結果の事業者等への浸透と、事業者間の交流・連携強化により、デジタルマーケティング分析結果を活用し(一社)Clan PEONY 津軽が運用しているホームページや圏域事業者向けメールマガジン等により定期的に旅行者の傾向や地域の観光資源の特徴等について事業者等に情報発信するほか、観光関連事業者向けセミナーを開催し、旅行者が津軽地域に求める観光の魅力や観光資源の活用方法事例等をマーケティングアドバイザーが助言することで、事業者等が観光データを学ぶ機会を創出し、観光データに基づいた効果的な事業展開や他の事業者との連携による相乗効果を狙う。

また、取組：(ウ) マーケティング分析に基づいた、事業者等との連携による受入環境整備や新たな観光の魅力発掘により、マーケティング分析結果で判明した、潜在的な旅行者が津軽地域に求める観光要素をもとに、マーケティングアドバイザーの支援の下で、農作物や伝統工芸など地域のあらゆる資源を観光資源と組み合わせ、潜在的な旅行者の需要を満たせる魅力的な観光コンテンツを造成する。

また、マーケティング分析結果をもとに旅行者の需要が高まっている観光スポットについて、外部の専門人材を招聘して観光地の現状をモニターすることで改善すべきポイントを把握し、受入環境の整備により旅行者の満足度を高め、リピート客の増加を図る。

課題：【④ターゲット層に向けた効果的な観光プロモーション手法が未確立】に対しては、取組：(エ) ターゲット層への効果的な訴求手法を活用した面的な観光プロモーションの実施により、地域の観光情報を集約してより多様な趣向に一度に応えられるようにスケールメリットを活かした面的なプロモーションの事業展開が可能となる。

具体的には、マーケティングアドバイザーの支援の下で、選定したターゲット層ごとに効果的とみられる情報発信媒体を活用し、複数の観光プロモーションを試験的に実施することで、最適な情報発信媒体を確立する。

E. 事業設計の根拠

(地域経済分析システム(RESAS)の活用などによる客観的なデータやこれまでの類似事業の実績評価に基づき交付対象事業の設計がなされているか)

津軽地域の観光データを読み解くと、以下の弱点を抱えていることが示される。

【1. 旅行消費額の低迷】

観光庁の2022年旅行・観光消費動向調査によると、旅行消費額の全都道府県平均が2,728億円に対し、青森県は全都道府県中第39位の1,050億円と、全国でも下位に位置している。青森県のうち津軽地域は468億円となっているものの、旅行消費額は事業者の収益に直結するため、ここを増加させていく必要がある。

【2. 旅行者数及び宿泊者数の低迷】

上記に記載した、津軽地域の旅行消費額が低い要因の1つとして、旅行者数及び宿泊者数の少なさが挙げられる。

観光庁の2022年旅行・観光消費動向調査によると、旅行者数の全都道府県平均が1,040万人に対し、青森県は全都道府県中第43位の329万人と、全国でも下位に位置している。旅行者が来ないと地域での旅行消費は生み出されないため、旅行消費額を増加させるためには、旅行者数の増加は不可欠である。

また、観光庁の2022年宿泊旅行統計調査によると、延べ宿泊者数の全都道府県平均が802万人に対し、青森県は全都道府県中第31位の344万人と、全国でも下位に位置している。

旅行消費額を構成する要素の中で宿泊費は大きな割合を占めるため、旅行消費額を増加させるためには、宿泊者数の増加は不可欠である。

【3. 旅行消費額単価の低迷】

さらに、津軽地域の旅行消費額が低いもう1つの要因として、旅行消費額単価の低さが挙げられる。観光庁の2022年旅行・観光消費動向調査によると、全都道府県の宿泊旅行での旅行消費額平均単価が26,233円/人だったのに対し、青森県は全都道府県中第5位の31,947円と、全国でも上位に位置している。しかし、観光庁と同じ調査方法で(一社)Clan PEONY 津軽が集計した津軽地域の2022年度の宿泊旅行での旅行消費額単価は24,631円/人と、大きな乖離が生じている。

旅行消費額を構成する要素の中で宿泊費は大きな割合を占め、宿泊数が増えると宿泊費以外の旅行消費も期待できるため、旅行者が地域に長期滞在するような施策を打ち出す必要がある。

このような、上記1～3の弱点を改善するためには、津軽地域全体の観光資源を効果的に活用して旅行者を誘引し、周遊型の観光で長期的に地域内に滞在してもらえるような施策が必要である。

F. ハード事業(施設整備等事業)とソフト事業との連携による高い相乗効果 ※ハード事業経費が総事業費の5割以上の場合のみ記載

5. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標	
	現行の地方版総合戦略	次期地方版総合戦略 (本事業の開始前又は本事業期間中に現行の地方版総合戦略の計画期限を迎える場合)
青森県弘前市	2020年3月19日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 広域連携による観光地域づくりの推進と外国人観光客の誘客促進 【数値目標:2024年度】 観光消費額 23,800百万円(2017:22,708百万円) 外国人宿泊者数 62,000人(2017:38,132人)	【基本目標】 (仮)安定した雇用創出と暮らしを支える地域産業の基盤整備 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県黒石市	2020年3月31日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 田園観光産業都市黒石市への新たなひとの流れづくり 【数値目標:2024年】 移住に関する相談・情報提供件数及び相談を経由しての移住者数 30人(2019年:20人) 市内施設宿泊者数(延べ人数) 46,242人(2019年:43,998人) 市内施設外国人宿泊者数(延べ人数) 2,537人(2019年:2,298人) 観光入込客数(延べ人数) 723,618人(2019年:655,403人)	【基本目標】 (仮)新しい人の流れの創出で元気なまち 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県五所川原市	2020年3月16日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 四季を通じた五所川原の魅力の創出と発信 【数値目標:2024年】 観光入込客数 640千人(2018年588千人) ホテル等の宿泊者数 131千人(2018年105千人)	【基本目標】 (仮)四季を通じた五所川原の魅力の創出と発信 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県つがる市	2020年3月30日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 観光振興の推進 【数値目標:2024年度】 観光入込客数 現状より増加(2019年度1,104,685人)	【基本目標】 (仮)観光振興の推進 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県平川市	2020年3月27日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 地域に根差す安定したしごとづくり 【数値目標:2024年】 1人当たり市民所得 260万円(2016年235.2万円)	【基本目標】 (仮)地域に根差す安定したしごとづくり 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県鱒ヶ沢町	2020年3月31日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 地域の魅力向上～魅力発信、観光推進、関係人口拡大、移住・定住促進、若者の還流～ 【数値目標:2024年度】 観光消費額 29.5億円(2019年26.9億円) 町内延べ宿泊者数 109,000人泊(2019年99,144人泊) 町内延べ宿泊者数のうちインバウンド宿泊者数 13,700人泊(2019年12,539人泊) 生産年齢人口の割合 43.3%以上(2015年51.8%)	【基本目標】 (仮)地域の魅力向上～魅力発信、観光推進、関係人口拡大、移住・定住促進、若者の還流～ 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県深浦町	2020年3月26日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 地域における共生(地域経済・生活関連機能のサービスの向上) 【数値目標:2024年度】 深浦診療所診療日数の維持 現状維持(2019年240日) 買物環境の改善 宅配や送迎など買い物弱者対策支援を行う商業者数 5事業所 地域公共交通の充実 コミュニティバス路線の新設	【基本目標】 (仮)地域における共生(地域経済・生活関連機能のサービスの向上) 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県西目屋村	2022年3月1日～2026年3月31日	2026年4月1日～2031年3月31日
	【基本目標】 地域資源を活かした観光の推進	【基本目標】 (仮)地域資源を活かした観光の推進 【数値目標】 2024年度中に設定

青森県藤崎町	2020年3月31日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 魅力あふれる観光の創出 【数値目標:2025年】 観光入込客数 5年間で11%増加	【基本目標】 (仮)魅力あふれる観光の創出 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県大鰐町	2020年3月19日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 新しいひとの流れによる”にぎわい”の創出 【数値目標:2025年】 順位同数(転入一転出) 現状より減少(2018年転出超過81人) 宿泊者数 31,000人(2020年25,228人)	【基本目標】 (仮)新しいひとの流れによる”にぎわい”の創出 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県田舎館村	2020年3月27日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 自然と共生する元気な・いなかだて(しごと)の創生 【数値目標:2024年】 村内観光地の観光入込客数 381,000人(2019年376,175人) 新規就農者数 10人(2024年までの累計)	【基本目標】 (仮)自然と共生する元気な・いなかだて(しごと)の創生 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県板柳町	2020年3月30日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 地域資源を活用した産業づくり 【数値目標:2024年】 ふるさとセンター利用者数 現状より増加(2017年度163千人)	【基本目標】 (仮)地域資源を活用した産業づくり 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県鶴田町	2020年3月31日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 鶴田町への新しい人の流れをつくる 【数値目標:2024年】 転入者数 280人(2018年237人) 観光入込客数 74万人(2018年67万人)	【基本目標】 (仮)鶴田町への新しい人の流れをつくる 【数値目標】 2024年度中に設定
青森県中泊町	2020年3月2日～2025年3月31日	2025年4月1日～2030年3月31日
	【基本目標】 観光業の活性化 【数値目標:2024年】 観光入込客数 268,000人(2018年244,500人) 観光振興の体制強化 観光振興の中核を担う組織の設立	【基本目標】 (仮)観光業の活性化 【数値目標】 2024年度中に設定

6. 関連事業等の概要

(1) 交付対象事業と他の国庫補助金等との関連性

交付対象事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費があるか 【対象となる可能性のある他の国庫補助金等の例】 「農産漁村振興交付金」、「中山間地域農業農村総合整備事業」、「ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業」、「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」、「福島県における観光関連復興支援事業」、「離島活性化交付金」、「社会資本整備総合交付金」、「地域少子化対策重点推進交付金」等	無
他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費がある場合、交付対象事業の対象から除外しているか ※他の国庫補助金等の対象となる部分がある場合のみ記載	

(2) 地域再生法の支援措置によらない独自の取組 該当の有無 無

(3) 交付対象事業と他の政策・施策との連携状況

別添2のⅢ. 7. における弾力措置適用の有無	無	
併用有無	無	
企業版ふるさと納税	企業版ふるさと納税の地域再生計画の名称	
	企業版ふるさと納税と併用する場合の寄附見込額	2024年度

7. 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)、費用対効果分析等

KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	地域における観光消費額	単位	千円				
KPI②	(一社)Clan PEONY 津軽ホームページのプレビュー数	単位	PV				
KPI③	(一社)Clan PEONY 津軽ホームページを介して販売された旅行コンテンツの販売額	単位	千円				
KPI④	旅行コンテンツの作成件数	単位	件				
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由・計測手法・目標値の根拠	<p>【計測に適している理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPI①: 本事業の目的の根幹は地域の事業者が稼げる観光地域づくりにあり、その効果を図るために、観光消費額は本事業実施によるアウトカムの評価基準として適している。 ・KPI②: 本事業の実施によるアウトプットは津軽地域全体の面的な観光プロモーションの実施及び効率的な誘客体制の構築となっており、地域の観光情報の一括発信及び体験型旅行コンテンツの予約販売を担う(一社)Clan PEONY 津軽ホームページのプレビュー数は本事業実施によるアウトカムの評価基準として適している。 ・KPI③: 本事業の実施によるアウトプットは津軽地域全体の面的な観光プロモーションの実施及び効率的な誘客体制の構築となっており、(一社)Clan PEONY 津軽ホームページを介した旅行コンテンツの販売額は本事業実施によるアウトカムの評価基準として適している。 ・KPI④: 本事業の実施によるアウトプットは津軽地域全体の面的な観光プロモーションの実施及び効率的な誘客体制の構築となっており、デジタルマーケティング分析に基づきターゲット層に響く旅行コンテンツを造成することが誘客強化につながるため、本事業実施によるアウトカムの評価基準として適している。 						
	<p>【計測手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPI①: (一社)Clan PEONY 津軽が実施する観光客満足度調査 ・KPI②: Googleアナリティクス ・KPI③: JTB BOKUNシステム ・KPI④: (一社)Clan PEONY 津軽の造成実績(事業者が主体となり(一社)Clan PEONY 津軽が連携して造成したものも含む) <p>【目標値の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPI①: 地域を訪れる旅行者数(観光入込客数)が各年度とも30,000人増加し、かつ旅行者1人当たりの地域での消費額(旅行消費額単価)が各年度とも250円増加 <p>※観光消費額は、観光入込客数×旅行消費額単価で算出。 なお、事業開始前(現時点)の数値は、①2023年度の観光入込客数(見込み値)を800,000人とし、②うち12%が宿泊客で消費額単価は24,850円、③残り88%が日帰客で消費額単価は3,850円、を根拠に算出。 また、各年度における増加分は、観光入込客数が毎年30,000人増加し、かつ宿泊客と日帰客の消費額単価がそれぞれ毎年250円ずつ上昇するものとして、算出。 <ul style="list-style-type: none"> ・KPI②: 年10%の伸び率 ・KPI③: 年70万円の伸び ・KPI④: 1~2年目は年10件、3年目は年20件の伸び </p>						
	事業開始前(現時点)	2024年度増加分(1年目)	2025年度増加分(2年目)	2026年度増加分(3年目)	2027年度増加分(4年目)	2028年度増加分(5年目)	KPI増加分の累計
KPI①【①】	50,960,000.00	3,986,000.00	4,136,000.00	4,286,000.00			12,408,000.00
KPI②	830,000.00	83,000.00	91,300.00	10,100.00			184,400.00
KPI③	2,800.00	700.00	700.00	700.00			2,100.00
KPI④	0.00	10.00	10.00	20.00			40.00
	2024年度(1年目)	2025年度(2年目)	2026年度(3年目)	2027年度(4年目)	2028年度(5年目)		合計
交付対象事業経費【②】 ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。	35,844千円	41,740千円	47,990千円	0千円	0千円		125,574千円
交付対象事業における単位当たりコスト【②/①】	0.01千円	0.01千円	0.01千円	0.00千円	0.00千円		0.01千円
交付対象事業におけるハード事業経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		0千円
交付対象事業におけるハード事業比率【③/②】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

8. 経費内訳

< 2024年度(1年目) >

全事業期間における本年の位置付け		【準備期間】 ・デジタルマーケティング分析を行うための各種データを収集し、デジタルマーケティング分析に基づいた津軽地域の観光戦略の策定及びターゲット層の選定を行う。						
事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
2024年4月	2025年3月	2024年4月	当初	年月		年月		
交付対象事業経費							35,844千円	
交付対象事業費におけるソフト事業経費					要素事業数	9	計	35,844千円
観光DXを活用したマーケティング事業					関連するKPI	①		4,600千円
旅行予約サイト運営事業者が集積した宿泊関連データを活用するほか、津軽地域の観光資源の「認知度」と「興味度」を計る調査を実施し、マーケティングアドバイザーの支援のもとで、県内外の他エリアとの比較をしながら津軽地域の観光デジタルマーケティング分析に基づく津軽地域の観光戦略策定とターゲット層の選定を行い、事業者に発表する場として、観光関連事業者等向けに分析結果の発表やターゲット層へのアプローチ手法などのセミナーを開催するもの。 ・使用料 @観光データ分析ツール利用料 396,000円 (弘前市:148千円、黒石市:32千円、五所川原市:49千円、つがる市:30千円、平川市:30千円、鱒ヶ沢町:12千円、深浦町:10千円、西目屋村:5千円、藤崎町:17千円、大鰐町:12千円、田舎館村:10千円、板柳町:15千円、鶴田町:14千円、中泊町:12千円) ・委託費 @観光データ分析ツール活用勉強会実施 385,000円 @エリア内GAP調査 2,200,000円 @分析支援及び観光関連事業者向けセミナー開催 1,619,000円 (弘前市:1,157千円、黒石市:336千円、五所川原市:521千円、つがる市:320千円、平川市:320千円、鱒ヶ沢町:122千円、深浦町:109千円、西目屋村:51千円、藤崎町:181千円、大鰐町:122千円、田舎館村:109千円、板柳町:156千円、鶴田町:151千円、中泊町:130千円)								
東北観光DMPシステム利用料					関連するKPI	①		620千円
観光客の動態や業種別の観光消費額等の定点観測、観光Webサイト別のアクセス状況など、県内外の他エリアとの比較をしながら津軽地域の観光デジタルマーケティング分析を行うために活用する、東北観光推進機構提供の「東北観光データマネジメントプラットフォーム」利用料を負担するもの。 ・システム利用料 620,000円 (弘前市:233千円、黒石市:50千円、五所川原市:77千円、つがる市:47千円、平川市:47千円、鱒ヶ沢町:18千円、深浦町:16千円、西目屋村:7千円、藤崎町:27千円、大鰐町:18千円、田舎館村:16千円、板柳町:23千円、鶴田町:22千円、中泊町:19千円)								
法人紹介資料作成費用					関連するKPI	①		150千円
事業者等に対して事業参画等の営業を行う際に活用する、(一社)Clan PEONY 津軽の法人パンフレット等の印刷を行うもの。 ・法人パンフレット等印刷費 150,000円 (弘前市:56千円、黒石市:12千円、五所川原市:19千円、つがる市:11千円、平川市:11千円、鱒ヶ沢町:4千円、深浦町:4千円、西目屋村:2千円、藤崎町:7千円、大鰐町:4千円、田舎館村:4千円、板柳町:6千円、鶴田町:5千円、中泊町:5千円)								
地域人材育成事業					関連するKPI	①、④		8,294千円
地域事業者等とともに、外部有識者のアドバイスを受けながら、地域資源の観光への活用策や商品開発等に取り組むもの。 また、(一社)Clan PEONY 津軽スタッフを東北観光推進機構の研修等に派遣し、観光人材として育成するもの。 ・委託料 8,000,000円 (弘前市:3,000千円、黒石市:640千円、五所川原市:992千円、つがる市:608千円、平川市:608千円、鱒ヶ沢町:232千円、深浦町:208千円、西目屋村:96千円、藤崎町:344千円、大鰐町:232千円、田舎館村:208千円、板柳町:296千円、鶴田町:288千円、中泊町:248千円) ・会場借上料 20,000円×10回=200,000円 (弘前市:75千円、黒石市:16千円、五所川原市:25千円、つがる市:15千円、平川市:15千円、鱒ヶ沢町:6千円、深浦町:5千円、西目屋村:3千円、藤崎町:9千円、大鰐町:6千円、田舎館村:5千円、板柳町:7千円、鶴田町:7千円、中泊町:6千円) ・消耗品費(一式) 30,000円 (弘前市:11千円、黒石市:2千円、五所川原市:4千円、つがる市:2千円、平川市:2千円、鱒ヶ沢町:1千円、深浦町:1千円、西目屋村:1千円、藤崎町:1千円、大鰐町:1千円、田舎館村:1千円、板柳町:1千円、鶴田町:1千円、中泊町:1千円) ・研修受講料 10,000円 (弘前市:4千円、黒石市:1千円、五所川原市:1千円、つがる市:1千円、平川市:1千円、鱒ヶ沢町:0千円、深浦町:0千円、西目屋村:0千円、藤崎町:1千円、大鰐町:0千円、田舎館村:0千円、板柳町:1千円、鶴田町:0千円、中泊町:0千円)								
受入環境整備を目的とした現地調査事業					関連するKPI	①、②、③、④		900千円
地域事業者等を対象に、専門家を招聘して、受入環境整備のポイントに関するセミナーの受講及び観光地での観光客受入環境の実地調査を行い、改善点のアドバイスを受けるもの。 ・委託費 900,000円 (弘前市:338千円、黒石市:72千円、五所川原市:112千円、つがる市:68千円、平川市:68千円、鱒ヶ沢町:26千円、深浦町:23千円、西目屋村:11千円、藤崎町:39千円、大鰐町:26千円、田舎館村:23千円、板柳町:33千円、鶴田町:33千円、中泊町:28千円)								

<p>在庫管理システムを活用した体験型旅行コンテンツ販売事業</p> <p>地域事業者と連携して体験型旅行コンテンツの造成及びJTB BOKUNシステムを活用した予約販売を行うとともに、インバウンド客に対する販売促進を行うため、地域事業者と連携してコンテンツをインバウンド客向けに磨き上げし、事業者を通じて海外OTAに津軽地域の体験コンテンツを掲載することで、法人ホームページへの誘引を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JTB BOKUN利用料 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鰺ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) ・商品造成費 200,000円×10件=2,000,000円 (弘前市:750千円、黒石市:160千円、五所川原市:248千円、つがる市:152千円、平川市:152千円、鰺ヶ沢町:58千円、深浦町:52千円、西目屋村:24千円、藤崎町:86千円、大鰐町:58千円、田舎館村:52千円、板柳町:74千円、鶴田町:72千円、中泊町:62千円) ・海外OTAへのコンテンツ掲載委託費 200,000円×5件=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鰺ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) 	<p>関連するKPI ①、②、③、④</p>	<p>3,500千円</p>
<p>松屋銀座プロジェクト事業</p> <p>株式会社松屋銀座との連携協定に基づき、株式会社松屋のデザイン力、発信力と津軽圏域14市町村の魅力マッチングすることで、地域資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力的で訴求力のある商品を造成・開発するとともに、津軽地域を県内外へ発信するなど津軽地域の認知度向上と、関係人口・交流人口の創出を目指すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津軽みやげ新ブランドプロジェクト事業 4,950,000円 (弘前市:1,856千円、黒石市:396千円、五所川原市:614千円、つがる市:376千円、平川市:376千円、鰺ヶ沢町:144千円、深浦町:129千円、西目屋村:59千円、藤崎町:213千円、大鰐町:144千円、田舎館村:129千円、板柳町:183千円、鶴田町:178千円、中泊町:153千円) ・松屋銀座 プロモーション事業 4,250,000円 (弘前市:1,594千円、黒石市:340千円、五所川原市:527千円、つがる市:323千円、平川市:323千円、鰺ヶ沢町:123千円、深浦町:111千円、西目屋村:51千円、藤崎町:183千円、大鰐町:123千円、田舎館村:110千円、板柳町:157千円、鶴田町:153千円、中泊町:132千円) ・松屋銀座 津軽ツナガルマルシェ事業 4,000,000円 (弘前市:1,500千円、黒石市:320千円、五所川原市:496千円、つがる市:304千円、平川市:304千円、鰺ヶ沢町:116千円、深浦町:104千円、西目屋村:48千円、藤崎町:172千円、大鰐町:116千円、田舎館村:104千円、板柳町:148千円、鶴田町:144千円、中泊町:124千円) ・ワークショップ委託費 100,000円×2回=200,000円 (弘前市:75千円、黒石市:16千円、五所川原市:25千円、つがる市:15千円、平川市:15千円、鰺ヶ沢町:6千円、深浦町:5千円、西目屋村:3千円、藤崎町:9千円、大鰐町:6千円、田舎館村:5千円、板柳町:7千円、鶴田町:7千円、中泊町:6千円) ・消耗品費(一式) 80,000円 (弘前市:30千円、黒石市:6千円、五所川原市:10千円、つがる市:6千円、平川市:6千円、鰺ヶ沢町:2千円、深浦町:2千円、西目屋村:1千円、藤崎町:4千円、大鰐町:2千円、田舎館村:2千円、板柳町:3千円、鶴田町:3千円、中泊町:3千円) ・印刷製作費 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鰺ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) ・委託費(装飾関係) 300,000円 (弘前市:112千円、黒石市:24千円、五所川原市:37千円、つがる市:23千円、平川市:23千円、鰺ヶ沢町:9千円、深浦町:8千円、西目屋村:3千円、藤崎町:13千円、大鰐町:9千円、田舎館村:8千円、板柳町:11千円、鶴田町:11千円、中泊町:9千円) 	<p>関連するKPI ①、②</p>	<p>14,280千円</p>
<p>観光情報発信事業</p> <p>Google社が提携する200万以上のWebサイト上で広告を表示するGDN広告及び10~30歳代の利用者が多いInstagramでの広告掲載を春夏秋冬1回ずつ実施することで、季節ごとの津軽地域観光PRを図るもの。また、(一社)Clan PEONY 津軽の観光情報発信ツールである「津軽広域探遊マップ」の増刷を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GDN広告 単価250,000円(広告25,000,000回表示)×4回=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鰺ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) ・Instagram広告 日額4,160円×30日×4回=500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鰺ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) ・津軽広域探遊マップ増刷 30.3円×30,000部×消費税10%≒1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鰺ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) 	<p>関連するKPI ①、②、③</p>	<p>2,500千円</p>

法人ホームページ改修事業		関連するKPI	①、②、③	
9	津軽地域の観光情報の一括発信及び体験型旅行コンテンツの予約販売を担う法人ホームページ「Time Trip TSUGARU」の改修業務を行うもの。 ・ホームページ改修業務(翻訳ページ作成等)委託料 1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円)			1,000千円
交付対象事業費におけるハード事業経費		要素事業数	0	計 0千円
地方公共団体別交付対象事業経費内訳				
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	
青森県弘前市	13,441千円	0千円	13,441千円	
青森県黒石市	2,868千円	0千円	2,868千円	
青森県五所川原市	4,445千円	0千円	4,445千円	
青森県つがる市	2,724千円	0千円	2,724千円	
青森県平川市	2,724千円	0千円	2,724千円	
青森県鱒ヶ沢町	1,040千円	0千円	1,040千円	
青森県深浦町	931千円	0千円	931千円	
青森県西目屋村	431千円	0千円	431千円	
青森県藤崎町	1,541千円	0千円	1,541千円	
青森県大鰐町	1,040千円	0千円	1,040千円	
青森県田舎館村	931千円	0千円	931千円	
青森県板柳町	1,326千円	0千円	1,326千円	
青森県鶴田町	1,291千円	0千円	1,291千円	
青森県中泊町	1,111千円	0千円	1,111千円	

< 2025年度(2年目) >

全事業期間における本年の位置付け	【プレ展開期間】 ・津軽地域を訪れる観光客の動向やターゲット層の興味関心の変化を確認するため、1年目に引き続き、デジタルマーケティング分析を行う。 ・デジタルマーケティング分析に基づき策定した観光戦略及びターゲット層の選定に沿って、ターゲット層の興味関心を引けるような旅行コンテンツの造成や受入環境整備を実施する。 ・ターゲット層に対して効果的にアプローチできる観光プロモーションについて検討し実施する。							
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
	2025年4月	2026年3月	2025年4月	当初	年月		年月	
交付対象事業経費								41,740千円
交付対象事業費におけるソフト事業経費		要素事業数	12	計	41,740千円			
1	観光DXを活用したマーケティング事業		関連するKPI	①				
	旅行予約サイト運営事業者が集積した宿泊関連データを活用するほか、観光関連事業者等向けに分析結果の発表やターゲット層へのアプローチ手法などのセミナーを開催するもの。 ・使用料 @観光データ分析ツール利用料 396,000円 (弘前市:148千円、黒石市:32千円、五所川原市:49千円、つがる市:30千円、平川市:30千円、鱒ヶ沢町:12千円、深浦町:10千円、西目屋村:5千円、藤崎町:17千円、大鰐町:12千円、田舎館村:10千円、板柳町:15千円、鶴田町:14千円、中泊町:12千円) ・委託費 @観光データ分析ツール活用勉強会実施 385,000円 @観光関連事業者向けセミナー開催 1,619,000円 (弘前市:752千円、黒石市:161千円、五所川原市:249千円、つがる市:152千円、平川市:152千円、鱒ヶ沢町:58千円、深浦町:52千円、西目屋村:24千円、藤崎町:86千円、大鰐町:58千円、田舎館村:52千円、板柳町:74千円、鶴田町:72千円、中泊町:62千円)				2,400千円			
2	東北観光DMPシステム利用料		関連するKPI	①				
	観光客の動態や業種別の観光消費額等の定点観測、観光Webサイト別のアクセス状況など、県内外の他エリアとの比較をしながら津軽地域の観光デジタルマーケティング分析を行うために活用する、東北観光推進機構提供の「東北観光データマネジメントプラットフォーム」利用料を負担するもの。 ・システム利用料 620,000円 (弘前市:233千円、黒石市:50千円、五所川原市:77千円、つがる市:47千円、平川市:47千円、鱒ヶ沢町:18千円、深浦町:16千円、西目屋村:7千円、藤崎町:27千円、大鰐町:18千円、田舎館村:16千円、板柳町:23千円、鶴田町:22千円、中泊町:19千円)				620千円			

<p>宿泊データ分析システム導入事業</p> <p>各宿泊施設の実績データ入力・集計の手間を省くため、さらには圏域内の宿泊施設毎の空室率の確認・予測を行うため、宿泊予約や顧客属性を一括でデータ管理できる宿泊データ分析システムの利用料を負担するほか、宿泊事業者向けに活用方法の研修会を実施するもの。</p> <p>・利用料 480,000円 (弘前市:180千円、黒石市:38千円、五所川原市:60千円、つがる市:37千円、平川市:36千円、鰯ヶ沢町:14千円、深浦町:12千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:14千円、田舎館村:12千円、板柳町:18千円、鶴田町:17千円、中泊町:15千円) ・委託費 2,200,000円 (弘前市:825千円、黒石市:176千円、五所川原市:273千円、つがる市:167千円、平川市:167千円、鰯ヶ沢町:64千円、深浦町:57千円、西目屋村:27千円、藤崎町:95千円、大鰐町:64千円、田舎館村:57千円、板柳町:81千円、鶴田町:79千円、中泊町:68千円)</p>	<p>関連するKPI ①、②、③</p>	<p>2,680千円</p>
<p>法人紹介資料作成費用</p> <p>事業者等に対して事業参画等の営業を行う際に活用する、(一社)Clan PEONY 津軽の法人パンフレット等の印刷を行うもの。</p> <p>・法人パンフレット等印刷費 150,000円 (弘前市:56千円、黒石市:12千円、五所川原市:19千円、つがる市:11千円、平川市:11千円、鰯ヶ沢町:4千円、深浦町:4千円、西目屋村:2千円、藤崎町:7千円、大鰐町:4千円、田舎館村:4千円、板柳町:6千円、鶴田町:5千円、中泊町:5千円)</p>	<p>関連するKPI ①</p>	<p>150千円</p>
<p>地域人財育成事業</p> <p>地域事業者等とともに、外部有識者のアドバイスを受けながら、地域資源の観光への活用策や商品開発等に取り組むもの。また、(一社)Clan PEONY 津軽スタッフを東北観光推進機構の研修等に派遣し、観光人材として育成するもの。</p> <p>・委託料 5,500,000円 (弘前市:2,062千円、黒石市:440千円、五所川原市:682千円、つがる市:418千円、平川市:418千円、鰯ヶ沢町:160千円、深浦町:143千円、西目屋村:66千円、藤崎町:237千円、大鰐町:160千円、田舎館村:143千円、板柳町:203千円、鶴田町:198千円、中泊町:170千円) ・会場借上料 20,000円×10回=200,000円 (弘前市:75千円、黒石市:16千円、五所川原市:25千円、つがる市:15千円、平川市:15千円、鰯ヶ沢町:6千円、深浦町:5千円、西目屋村:3千円、藤崎町:9千円、大鰐町:6千円、田舎館村:5千円、板柳町:7千円、鶴田町:7千円、中泊町:6千円) ・消耗品費(一式) 30,000円 (弘前市:11千円、黒石市:2千円、五所川原市:4千円、つがる市:2千円、平川市:2千円、鰯ヶ沢町:1千円、深浦町:1千円、西目屋村:1千円、藤崎町:1千円、大鰐町:1千円、田舎館村:1千円、板柳町:1千円、鶴田町:1千円、中泊町:1千円) ・研修受講料 10,000円 (弘前市:4千円、黒石市:1千円、五所川原市:1千円、つがる市:1千円、平川市:1千円、鰯ヶ沢町:0千円、深浦町:0千円、西目屋村:0千円、藤崎町:1千円、大鰐町:0千円、田舎館村:0千円、板柳町:1千円、鶴田町:0千円、中泊町:0千円)</p>	<p>関連するKPI ①、④</p>	<p>5,740千円</p>
<p>受入環境整備を目的とした現地調査事業</p> <p>地域事業者等を対象に、専門家を招聘して、受入環境整備のポイントに関するセミナーの受講及び観光地での観光客受入環境の現地調査を行い、改善点のアドバイスを受けるもの。</p> <p>・委託費 900,000円 (弘前市:338千円、黒石市:72千円、五所川原市:112千円、つがる市:68千円、平川市:68千円、鰯ヶ沢町:26千円、深浦町:23千円、西目屋村:11千円、藤崎町:39千円、大鰐町:26千円、田舎館村:23千円、板柳町:33千円、鶴田町:33千円、中泊町:28千円)</p>	<p>関連するKPI ①、②、③、④</p>	<p>900千円</p>
<p>在庫管理システムを活用した体験型旅行コンテンツ販売事業</p> <p>地域事業者と連携して体験型旅行コンテンツの造成及びJTB BOKUNシステムを活用した予約販売を行うとともに、インバウンド客に対する販売促進を行うため、地域事業者と連携してコンテンツをインバウンド客向けに磨き上げ、事業者を通じて海外OTAに津軽地域の体験コンテンツを掲載することで、法人ホームページへの誘引を図るもの。</p> <p>・JTB BOKUN利用料 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鰯ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) ・商品造成費 200,000円×10件=2,000,000円 (弘前市:750千円、黒石市:160千円、五所川原市:248千円、つがる市:152千円、平川市:152千円、鰯ヶ沢町:58千円、深浦町:52千円、西目屋村:24千円、藤崎町:86千円、大鰐町:58千円、田舎館村:52千円、板柳町:74千円、鶴田町:72千円、中泊町:62千円) ・海外OTAへのコンテンツ掲載委託費 200,000円×5件=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鰯ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円)</p>	<p>関連するKPI ①、②、③、④</p>	<p>3,500千円</p>
<p>地域観光の目玉となる旅行コンテンツ造成事業</p> <p>外部のアドバイザーを招聘し、地域の事業者等と連携しながら、ねぶたまつりやさくらまつりなど既存の中心的な観光資源に匹敵するような、津軽地域の観光の動機付けとなる旅行コンテンツの造成を行うもの。</p> <p>・委託費(外部アドバイザー招聘等) 6,500,000円 (弘前市:2,437千円、黒石市:520千円、五所川原市:806千円、つがる市:494千円、平川市:494千円、鰯ヶ沢町:189千円、深浦町:169千円、西目屋村:78千円、藤崎町:280千円、大鰐町:189千円、田舎館村:169千円、板柳町:240千円、鶴田町:234千円、中泊町:201千円) ・広告宣伝費 3,000,000円 (弘前市:1,125千円、黒石市:240千円、五所川原市:372千円、つがる市:228千円、平川市:228千円、鰯ヶ沢町:87千円、深浦町:78千円、西目屋村:36千円、藤崎町:129千円、大鰐町:87千円、田舎館村:78千円、板柳町:111千円、鶴田町:108千円、中泊町:93千円) ・印刷製本費 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鰯ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円)</p>	<p>関連するKPI ①、②、③、④</p>	<p>10,000千円</p>

弘前城天守閣曳家イベントを起点とした誘客促進準備事業	関連するKPI	①、②、③、④	2,250千円		
<p>弘前城天守の石垣改修工事が終了する2026年度に、弘前城天守閣を元の位置に戻すための曳家作業を、市民や観光客に体験してもらうイベント実施の構想があることから、そのコンテンツの関連事業として津軽地域への誘客促進施策の企画調整やプロモーションの準備を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品造成費 400,000円×2件=800,000円 (弘前市:300千円、黒石市:64千円、五所川原市:99千円、つがる市:61千円、平川市:61千円、鱒ヶ沢町:23千円、深浦町:21千円、西目屋村:10千円、藤崎町:34千円、大鰐町:23千円、田舎館村:21千円、板柳町:29千円、鶴田町:29千円、中泊町:25千円) 広告宣伝費 1,200,000円 (弘前市:450千円、黒石市:96千円、五所川原市:149千円、つがる市:91千円、平川市:91千円、鱒ヶ沢町:35千円、深浦町:31千円、西目屋村:15千円、藤崎町:52千円、大鰐町:35千円、田舎館村:31千円、板柳町:44千円、鶴田町:43千円、中泊町:37千円) 印刷製作費 250,000円 (弘前市:94千円、黒石市:20千円、五所川原市:31千円、つがる市:19千円、平川市:19千円、鱒ヶ沢町:7千円、深浦町:7千円、西目屋村:3千円、藤崎町:11千円、大鰐町:7千円、田舎館村:6千円、板柳町:9千円、鶴田町:9千円、中泊町:8千円) 					
松屋銀座プロジェクト事業	関連するKPI	①、②	10,000千円		
<p>1年目に引き続き、株式会社松屋銀座との連携協定に基づき、株式会社松屋のデザイン力、発信力と14市町村の魅力をマッチングすることで、地域資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力的で訴求力のある商品を造成・開発するとともに、津軽地域を県内外へ発信するなど地域の認知度向上と、関係人口・交流人口の創出を目指すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品造成費 3,000,000円 (弘前市:1,125千円、黒石市:240千円、五所川原市:372千円、つがる市:228千円、平川市:228千円、鱒ヶ沢町:87千円、深浦町:78千円、西目屋村:36千円、藤崎町:129千円、大鰐町:87千円、田舎館村:78千円、板柳町:111千円、鶴田町:108千円、中泊町:93千円) 広告宣伝費 5,000,000円 (弘前市:1,875千円、黒石市:400千円、五所川原市:620千円、つがる市:380千円、平川市:380千円、鱒ヶ沢町:145千円、深浦町:130千円、西目屋村:60千円、藤崎町:215千円、大鰐町:145千円、田舎館村:130千円、板柳町:185千円、鶴田町:180千円、中泊町:155千円) 委託費(ワークショップ等) 800,000円 (弘前市:300千円、黒石市:64千円、五所川原市:99千円、つがる市:61千円、平川市:61千円、鱒ヶ沢町:23千円、深浦町:21千円、西目屋村:10千円、藤崎町:34千円、大鰐町:23千円、田舎館村:21千円、板柳町:29千円、鶴田町:29千円、中泊町:25千円) 印刷製作費 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) 通信費(商品等郵送料) 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) 消耗品費(一式) 200,000円 (弘前市:75千円、黒石市:16千円、五所川原市:25千円、つがる市:15千円、平川市:15千円、鱒ヶ沢町:6千円、深浦町:5千円、西目屋村:3千円、藤崎町:9千円、大鰐町:6千円、田舎館村:5千円、板柳町:7千円、鶴田町:7千円、中泊町:6千円) 					
観光情報発信事業	関連するKPI	①、②、③	2,500千円		
<p>Google社が提携する200万以上のWebサイト上で広告を表示するGDN広告及び10~30歳代の利用者が多いInstagramでの広告掲載を春夏秋冬1回ずつ実施することで、季節ごとの津軽地域観光PRを図るもの。また、(一社)Clan PEONY 津軽の観光情報発信ツールである「津軽広域探遊マップ」の増刷を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> GDN広告 単価250,000円(広告25,000,000回表示)×4回=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) Instagram広告 日額4,160円×30日×4回=500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) 津軽広域探遊マップ増刷 30.3円×30,000部×消費税10%=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) 					
法人ホームページ改修事業	関連するKPI	①、②、③	1,000千円		
<p>津軽地域の観光情報の一括発信及び体験型旅行コンテンツの予約販売を担う法人ホームページ「Time Trip TSUGARU」の改修業務を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ改修業務(翻訳ページ作成等)委託料 1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) 					
交付対象事業費におけるハード事業経費		要素事業数	0	計	0千円

地方公共団体別交付対象事業経費内訳			
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計
青森県弘前市	15,652千円	0千円	15,652千円
青森県黒石市	3,339千円	0千円	3,339千円
青森県五所川原市	5,176千円	0千円	5,176千円
青森県つがる市	3,172千円	0千円	3,172千円
青森県平川市	3,172千円	0千円	3,172千円
青森県鱒ヶ沢町	1,211千円	0千円	1,211千円
青森県深浦町	1,085千円	0千円	1,085千円
青森県西目屋村	501千円	0千円	501千円
青森県藤崎町	1,795千円	0千円	1,795千円
青森県大鰐町	1,211千円	0千円	1,211千円
青森県田舎館村	1,085千円	0千円	1,085千円
青森県板柳町	1,544千円	0千円	1,544千円
青森県鶴田町	1,503千円	0千円	1,503千円
青森県中泊町	1,294千円	0千円	1,294千円

< 2026年度(3年目) >

全事業期間における本年の位置付け	【展開期間】 ・津軽地域を訪れる観光客の動向やターゲット層の興味関心の変化を確認するため、2年目に引き続き、デジタルマーケティング分析を行う。 ・2年目に引き続き、ターゲット層の興味関心を引けるような旅行コンテンツの作成や受入環境整備を実施する。 ・2年目の結果を踏まえて、ターゲット層に対して効果的にアプローチできる観光プロモーションについて検討し実施する。								
	事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③	
	2026年4月	2027年3月	2026年4月	当初	年月		年月		
交付対象事業経費								47,990千円	
交付対象事業費におけるソフト事業経費						要素事業数	13	計	47,990千円
1	観光DXを活用したマーケティング事業					関連するKPI	①	2,400千円	
	<p>旅行予約サイト運営事業者が集積した宿泊関連データを活用するほか、観光関連事業者等向けに分析結果の発表やターゲット層へのアプローチ手法などのセミナーを開催するもの。</p> <p>・使用料 @観光データ分析ツール利用料 396,000円 (弘前市:148千円、黒石市:32千円、五所川原市:49千円、つがる市:30千円、平川市:30千円、鱒ヶ沢町:12千円、深浦町:10千円、西目屋村:5千円、藤崎町:17千円、大鰐町:12千円、田舎館村:10千円、板柳町:15千円、鶴田町:14千円、中泊町:12千円)</p> <p>・委託費 @観光データ分析ツール活用勉強会実施 385,000円 @観光関連事業者向けセミナー開催 1,619,000円 (弘前市:752千円、黒石市:161千円、五所川原市:249千円、つがる市:152千円、平川市:152千円、鱒ヶ沢町:58千円、深浦町:52千円、西目屋村:24千円、藤崎町:86千円、大鰐町:58千円、田舎館村:52千円、板柳町:74千円、鶴田町:72千円、中泊町:62千円)</p>								
	東北観光DMPシステム利用料					関連するKPI	①		620千円
	<p>観光客の動態や業種別の観光消費額等の定点観測、観光Webサイト別のアクセス状況など、県内外の他エリアとの比較をしながら津軽地域の観光デジタルマーケティング分析を行うために活用する、東北観光推進機構提供の「東北観光データマネジメントプラットフォーム」利用料を負担するもの。</p> <p>・システム利用料 620,000円 (弘前市:233千円、黒石市:50千円、五所川原市:77千円、つがる市:47千円、平川市:47千円、鱒ヶ沢町:18千円、深浦町:16千円、西目屋村:7千円、藤崎町:27千円、大鰐町:18千円、田舎館村:16千円、板柳町:23千円、鶴田町:22千円、中泊町:19千円)</p>								
3	青森ファンプラットフォームシステム利用料					関連するKPI	①、④	1,000千円	
	<p>青森県が提供する全国の青森ファンのコミュニティ運営及びCRMシステム「青森ファンプラットフォーム」利用料を負担するもの。</p> <p>・システム利用料 1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円)</p>								
4	宿泊データ分析システム活用事業					関連するKPI	①、②、③	2,680千円	
	<p>各宿泊施設の実績データ入力・集計の手間を省くため、さらには圏域内の宿泊施設毎の空室率の確認・予測を行うため、宿泊予約や顧客属性を一括でデータ管理できる宿泊データ分析システムの利用料を負担するほか、宿泊事業者向けに活用方法の研修会を実施するもの。</p> <p>・利用料 480,000円 (弘前市:180千円、黒石市:38千円、五所川原市:60千円、つがる市:37千円、平川市:36千円、鱒ヶ沢町:14千円、深浦町:12千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:14千円、田舎館村:12千円、板柳町:18千円、鶴田町:17千円、中泊町:15千円)</p> <p>・委託費 2,200,000円 (弘前市:825千円、黒石市:176千円、五所川原市:273千円、つがる市:167千円、平川市:167千円、鱒ヶ沢町:64千円、深浦町:57千円、西目屋村:27千円、藤崎町:95千円、大鰐町:64千円、田舎館村:57千円、板柳町:81千円、鶴田町:79千円、中泊町:68千円)</p>								

5	<p>法人紹介資料作成費用</p> <p>事業者等に対して事業参画等の営業を行う際に活用する、(一社)Clan PEONY 津軽の法人パンフレット等の印刷を行うもの。 ・法人パンフレット等印刷費 150,000円 (弘前市:56千円、黒石市:12千円、五所川原市:19千円、つがる市:11千円、平川市:11千円、鱒ヶ沢町:4千円、深浦町:4千円、西目屋村:2千円、藤崎町:7千円、大鰐町:4千円、田舎館村:4千円、板柳町:6千円、鶴田町:5千円、中泊町:5千円)</p>	<p>関連するKPI</p> <p>①</p>	<p>150千円</p>
6	<p>地域人財育成事業</p> <p>地域事業者等とともに、外部有識者のアドバイスを受けながら、地域資源の観光への活用策や商品開発等に取り組むもの。 また、(一社)Clan PEONY 津軽スタッフを東北観光推進機構の研修等に派遣し、観光人材として育成するもの。 ・委託料 5,500,000円 (弘前市:2,062千円、黒石市:440千円、五所川原市:682千円、つがる市:418千円、平川市:418千円、鱒ヶ沢町:160千円、深浦町:143千円、西目屋村:66千円、藤崎町:237千円、大鰐町:160千円、田舎館村:143千円、板柳町:203千円、鶴田町:198千円、中泊町:170千円) ・会場借上料 20,000円×10回=200,000円 (弘前市:75千円、黒石市:16千円、五所川原市:25千円、つがる市:15千円、平川市:15千円、鱒ヶ沢町:6千円、深浦町:5千円、西目屋村:3千円、藤崎町:9千円、大鰐町:6千円、田舎館村:5千円、板柳町:7千円、鶴田町:7千円、中泊町:6千円) ・消耗品費(一式) 30,000円 (弘前市:11千円、黒石市:2千円、五所川原市:4千円、つがる市:2千円、平川市:2千円、鱒ヶ沢町:1千円、深浦町:1千円、西目屋村:1千円、藤崎町:1千円、大鰐町:1千円、田舎館村:1千円、板柳町:1千円、鶴田町:1千円、中泊町:1千円) ・研修受講料 10,000円 (弘前市:4千円、黒石市:1千円、五所川原市:1千円、つがる市:1千円、平川市:1千円、鱒ヶ沢町:0千円、深浦町:0千円、西目屋村:0千円、藤崎町:1千円、大鰐町:0千円、田舎館村:0千円、板柳町:1千円、鶴田町:0千円、中泊町:0千円)</p>	<p>関連するKPI</p> <p>①、④</p>	<p>5,740千円</p>
7	<p>受入環境整備を目的とした現地調査事業</p> <p>地域事業者等を対象に、専門家を招聘して、受入環境整備のポイントに関するセミナーの受講及び観光地での観光客受入環境の実地調査を行い、改善点のアドバイスを受けるもの。 ・委託費 900,000円 (弘前市:338千円、黒石市:72千円、五所川原市:112千円、つがる市:68千円、平川市:68千円、鱒ヶ沢町:26千円、深浦町:23千円、西目屋村:11千円、藤崎町:39千円、大鰐町:26千円、田舎館村:23千円、板柳町:33千円、鶴田町:33千円、中泊町:28千円)</p>	<p>関連するKPI</p> <p>①、②、③、④</p>	<p>900千円</p>
8	<p>在庫管理システムを活用した体験型旅行コンテンツ販売事業</p> <p>地域事業者と連携して体験型旅行コンテンツの造成及びJTB BOKUNシステムを活用した予約販売を行うとともに、インバウンド客に対する販売促進を行うため、地域事業者と連携してコンテンツをインバウンド客向けに磨き上げし、事業者を通じて海外OTAに津軽地域の体験コンテンツを掲載することで、法人ホームページへの誘引を図るもの。 ・JTB BOKUN利用料 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) ・商品造成費 200,000円×20件=4,000,000円 (弘前市:1,500千円、黒石市:320千円、五所川原市:496千円、つがる市:304千円、平川市:304千円、鱒ヶ沢町:116千円、深浦町:104千円、西目屋村:48千円、藤崎町:172千円、大鰐町:116千円、田舎館村:104千円、板柳町:148千円、鶴田町:144千円、中泊町:124千円) ・海外OTAへのコンテンツ掲載委託費 200,000円×10件=2,000,000円 (弘前市:750千円、黒石市:160千円、五所川原市:248千円、つがる市:152千円、平川市:152千円、鱒ヶ沢町:58千円、深浦町:52千円、西目屋村:24千円、藤崎町:86千円、大鰐町:58千円、田舎館村:52千円、板柳町:74千円、鶴田町:72千円、中泊町:62千円)</p>	<p>関連するKPI</p> <p>①、②、③、④</p>	<p>6,500千円</p>
9	<p>地域観光の目玉となる旅行コンテンツ造成事業</p> <p>外部のアドバイザーを招聘し、地域の事業者等と連携しながら、ねぶたまつりやさくらまつりなど既存の中心的な観光資源に匹敵するような、津軽地域の観光の動機付けとなる旅行コンテンツの造成を行うもの。 ・委託費(外部アドバイザー招聘等) 6,500,000円 (弘前市:2,437千円、黒石市:520千円、五所川原市:806千円、つがる市:494千円、平川市:494千円、鱒ヶ沢町:189千円、深浦町:169千円、西目屋村:78千円、藤崎町:280千円、大鰐町:189千円、田舎館村:169千円、板柳町:240千円、鶴田町:234千円、中泊町:201千円) ・広告宣伝費 3,000,000円 (弘前市:1,125千円、黒石市:240千円、五所川原市:372千円、つがる市:228千円、平川市:228千円、鱒ヶ沢町:87千円、深浦町:78千円、西目屋村:36千円、藤崎町:129千円、大鰐町:87千円、田舎館村:78千円、板柳町:111千円、鶴田町:108千円、中泊町:93千円) ・印刷製本費 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円)</p>	<p>関連するKPI</p> <p>①、③</p>	<p>10,000千円</p>
10	<p>弘前城天守閣曳家イベントを起点とした誘客促進事業</p> <p>弘前城天守の石垣改修工事が終了する2026年度に、弘前城天守閣を元の位置に戻すための曳家作業を、市民や観光客に体験してもらうイベント実施の構想があることから、そのコンテンツの関連事業として津軽地域への誘客促進施策の企画調整やプロモーションを行うもの。 ・商品造成費 400,000円×2件=800,000円 (弘前市:300千円、黒石市:64千円、五所川原市:99千円、つがる市:61千円、平川市:61千円、鱒ヶ沢町:23千円、深浦町:21千円、西目屋村:10千円、藤崎町:34千円、大鰐町:23千円、田舎館村:21千円、板柳町:29千円、鶴田町:29千円、中泊町:25千円) ・広告宣伝費 3,200,000円 (弘前市:1,200千円、黒石市:256千円、五所川原市:397千円、つがる市:243千円、平川市:243千円、鱒ヶ沢町:93千円、深浦町:83千円、西目屋村:39千円、藤崎町:138千円、大鰐町:93千円、田舎館村:83千円、板柳町:118千円、鶴田町:115千円、中泊町:99千円) ・印刷製作費 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円)</p>	<p>関連するKPI</p> <p>①、④</p>	<p>4,500千円</p>

松屋銀座プロジェクト事業		関連するKPI	①、④	
11	<p>2年目に引き続き、株式会社松屋銀座との連携協定に基づき、株式会社松屋のデザイン力、発信力と14市町村の魅力をマッチングすることで、地域資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力的で訴求力のある商品を作成・開発するとともに、津軽地域を県内外へ発信するなど地域の認知度向上と、関係人口・交流人口の創出を目指すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品造成費 3,000,000円 (弘前市:1,125千円、黒石市:240千円、五所川原市:372千円、つがる市:228千円、平川市:228千円、鱒ヶ沢町:87千円、深浦町:78千円、西目屋村:36千円、藤崎町:129千円、大鰐町:87千円、田舎館村:78千円、板柳町:111千円、鶴田町:108千円、中泊町:93千円) 広告宣伝費 5,000,000円 (弘前市:1,875千円、黒石市:400千円、五所川原市:620千円、つがる市:380千円、平川市:380千円、鱒ヶ沢町:145千円、深浦町:130千円、西目屋村:60千円、藤崎町:215千円、大鰐町:145千円、田舎館村:130千円、板柳町:185千円、鶴田町:180千円、中泊町:155千円) 委託費(ワークショップ等) 800,000円 (弘前市:300千円、黒石市:64千円、五所川原市:99千円、つがる市:61千円、平川市:61千円、鱒ヶ沢町:23千円、深浦町:21千円、西目屋村:10千円、藤崎町:34千円、大鰐町:23千円、田舎館村:21千円、板柳町:29千円、鶴田町:29千円、中泊町:25千円) 印刷製作費 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) 通信費(商品等郵送料) 500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) 消耗品費(一式) 200,000円 (弘前市:75千円、黒石市:16千円、五所川原市:25千円、つがる市:15千円、平川市:15千円、鱒ヶ沢町:6千円、深浦町:5千円、西目屋村:3千円、藤崎町:9千円、大鰐町:6千円、田舎館村:5千円、板柳町:7千円、鶴田町:7千円、中泊町:6千円) 			10,000千円
観光情報発信事業		関連するKPI	①、②、③	
12	<p>Google社が提携する200万以上のWebサイト上で広告を表示するGDN広告及び10~30歳代の利用者が多いInstagramでの広告掲載を春夏秋冬1回ずつ実施することで、季節ごとの津軽地域観光PRを図るもの。また、(一社)Clan PEONY 津軽の観光情報発信ツールである「津軽広域探遊マップ」の増刷を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> GDN広告 単価250,000円(広告25,000,000回表示)×4回=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) Instagram広告 日額4,160円×30日×4回=500,000円 (弘前市:187千円、黒石市:40千円、五所川原市:62千円、つがる市:38千円、平川市:38千円、鱒ヶ沢町:15千円、深浦町:13千円、西目屋村:6千円、藤崎町:21千円、大鰐町:15千円、田舎館村:13千円、板柳町:19千円、鶴田町:18千円、中泊町:15千円) 津軽広域探遊マップ増刷 30.3円×30,000部×消費税10%=1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) 			2,500千円
法人ホームページ改修事業		関連するKPI	①、②、③	
13	<p>津軽地域の観光情報の一括発信及び体験型旅行コンテンツの予約販売を担う法人ホームページ「Time Trip TSUGARU」の改修業務を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ改修業務(翻訳ページ作成等)委託料 1,000,000円 (弘前市:375千円、黒石市:80千円、五所川原市:124千円、つがる市:76千円、平川市:76千円、鱒ヶ沢町:29千円、深浦町:26千円、西目屋村:12千円、藤崎町:43千円、大鰐町:29千円、田舎館村:26千円、板柳町:37千円、鶴田町:36千円、中泊町:31千円) 			1,000千円
交付対象事業費におけるハード事業経費		要素事業数	0	計
				0千円
地方公共団体別交付対象事業経費内訳				
地方公共団体名	ソフト事業経費	ハード事業経費	地方公共団体計	
青森県弘前市	17,996千円	0千円	17,996千円	
青森県黒石市	3,840千円	0千円	3,840千円	
青森県五所川原市	5,951千円	0千円	5,951千円	
青森県つがる市	3,647千円	0千円	3,647千円	
青森県平川市	3,647千円	0千円	3,647千円	
青森県鱒ヶ沢町	1,392千円	0千円	1,392千円	
青森県深浦町	1,247千円	0千円	1,247千円	
青森県西目屋村	576千円	0千円	576千円	
青森県藤崎町	2,064千円	0千円	2,064千円	
青森県大鰐町	1,392千円	0千円	1,392千円	
青森県田舎館村	1,247千円	0千円	1,247千円	
青森県板柳町	1,776千円	0千円	1,776千円	
青森県鶴田町	1,728千円	0千円	1,728千円	
青森県中泊町	1,487千円	0千円	1,487千円	

9. 先導性に係る取組

先導性	取組内容						
(1) 自立性 事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。	自立性のポイント	<p>(一社)Clan PEONY 津軽は法人格を持つ一法人であるが、DMOに求められる「観光地域づくり」という役割は、公益性・公共性を有している。地域全体の観光戦略策定やマーケティング調査・分析およびその結果を地域の関係者にフィードバックするという公益性・公共性を有する事業については14市町村の負担金の継続的な確保に取り組む。</p> <p>一方、法人として自主財源の確保に取り組む事業については、地域事業者と連携して造成した旅行商品の販売に際し、24時間予約・在庫管理を行えるJTB BOKUNシステムを導入した法人ホームページ「Time Trip TSUGARU」での販売手数料により財源確保に取り組む。</p>					
	国・専門家等から事業運営等に対する助言・サポートを受け、それを反映させる体制(国・地方及び専門家等が協働したPDCAサイクル)の概要※ Society5.0型のみ記載						
	3～5年以内の自立化の見込み			② あり(地方公共団体の一般財源による負担)			
	自主財源の種類		自主財源の内容と実現方法				
	【A】	一般財源	構成14市町村からの負担金。地域全体の観光デジタルマーケティングを行い、域内事業者の利益につなげるなど、公益性・公共性の高い事業に対しては市町村が負担するもの。				
	【B】	手数料収入	(一社)Clan PEONY 津軽のホームページを通じた体験型観光コンテンツの販売により手数料を得る。				
	【C】						
	【D】						
	各年度における自主財源見込額	2024年度(1年目)	2025年度(2年目)	2026年度(3年目)	2027年度(4年目)	2028年度(5年目)	2029年度(6年目)
	【A】	27,000千円	27,000千円	27,000千円	29,500千円		
【B】	280千円	336千円	392千円	500千円			
【C】							
【D】							
合計	27,280千円	27,336千円	27,392千円	30,000千円	0千円	0千円	
交付対象事業経費	35,844千円	41,740千円	47,990千円	0千円	0千円		
うちソフト事業費	35,844千円	41,740千円	47,990千円	0千円	0千円		
うちハード事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
総事業費	36,134千円	42,030千円	48,280千円	30,000千円			
(2) 官民協働 地方公共団体のみの取組ではなく、民間と協働して行う事業であること。また、単に協働するにとどまらず、民間からの資金(融資や出資など)を得て行うことがあれば、より望ましい。	官民協働のポイント	<p>(一社)Clan PEONY 津軽は地域連携DMOとして活動するにあたり、そのスケールメリットを活かして、圏域の行政や事業者が単独では手が回らない領域の研究開発や情報発信を担う。</p> <p>具体的には、デジタルマーケティングに基づく地域の観光戦略を策定し、行政や事業者に対してデジタルマーケティングデータの提供や観光関連事業者向けセミナーを実施することで、観光に取り組む地域としての方向性を統一する。</p> <p>それを踏まえ、行政や事業者は(一社)Clan PEONY 津軽と連携して受入環境の整備や観光客満足度の向上、旅行商品等の開発・改善、観光客の属性に合致した観光モデルルートの開発等を行い、圏域全体の面的な観光プロモーションを打ち出して効率的な誘客を図る体制を構築する。</p> <p>また、地域の各業種が抱える課題や地域の魅力の発掘及び発信などについて、観光業界にとどまらず多業種の連携を目指すために、各業種のワーキンググループ等の統合・新設等を行い、地域全体で観光の推進を議論する。</p>					
	行政の役割	<p>行政は(一社)Clan PEONY 津軽へ職員を派遣するほか、(一社)Clan PEONY 津軽と連携を図り、立案された戦略に基づいた公共の観光施設の整備・運営や観光プロモーションを行う。</p> <p>また、各市町村の事業者と(一社)Clan PEONY 津軽との関係構築を取り持つ役割や、ワーキンググループ等で出された地域課題の解決の支援を担うことで、圏域全体の観光地域づくりの推進を支える。</p>					
	民間事業者の役割	<p>(一社)Clan PEONY 津軽が提供するデジタルマーケティングデータや観光関連事業者向けセミナーを通じて、観光客が求める受入環境の整備や旅行商品等の提供を担い、個々の集客力及び観光客満足度の向上を図ることで、地域全体へ効果が波及するよう努める。</p> <p>また、ワーキンググループ等を通じて行政や他の事業者と積極的に連携を図ることで、地域の新たな魅力の創造や人材不足の解消、労働環境の改善等に努める。</p>					

	金融機関・その他連携者の役割	<p>(一社) Clan PEONY 津軽の監事として参画している金融機関は、グループ会社が有する独自のネットワークやノウハウから地域の現状を分析し、(一社) Clan PEONY 津軽が戦略等の策定・改訂を行う際のアドバイスをを行う。また、(一社) Clan PEONY 津軽や地域事業者と連携して、期中の新規事業展開や民間施設の整備等への投資が必要となる際に、融資等財源確保の相談に応じる。</p> <p>地域の大学に対して、(一社) Clan PEONY 津軽が展開する事業に対する若年層の意見聴取の場や、モニターツアー等への人員拠出をお願いしている。</p>
	PFIの活用の有無	無
(3) 地域間連携	<p>単独の地方公共団体のみの取組ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であること。</p> <p>地域間連携のポイント</p>	<p>津軽地域の14市町村が一体となって圏域の観光振興に取り組むことで、各市町村が持つ観光資源を活かした多種多様な観光コンテンツや宿泊施設を組み合わせた周遊観光ルートの開発が促進される。周遊観光を促進し旅行者が地域に滞在する時間を伸ばすことができれば、宿泊や域内交通、飲食など観光消費の相乗効果を複数市町村へ波及させることが可能となる。</p> <p>また、圏域全体の面的な観光プロモーションを行うことでより多くの趣味趣向の人に対して津軽地域の観光の魅力効率的に届けることができる。</p> <p>さらに、圏域内での観光デジタルマーケティング分析に基づいた各市町村の観光関連施設間の連携やエリアの垣根を超えた事業者間連携、公共交通の利活用強化など、市町村単独では成し得なかった地域課題解決につながる取り組みを創出することができる。</p> <p>【弘前市】 運営主体として人員を派遣、事業実施の中心的な役割を果たす。 地域の観光・宿泊の中心地であり、新幹線や空港からの二次交通の強化を図ることで、周遊観光ルートの起点として各市町村へ送客を促進できる。面的な観光プロモーションと周遊観光の促進により、地域に訪れる観光客の増加を促し、観光の起点である弘前市への誘客増加が見込まれる。</p> <p>【黒石市・五所川原市・つがる市・平川市・藤崎町・中泊町】 法人の理事として運営に関わり、人員を派遣する。また、弘前市を補完する役割を果たす。 中南・西北津軽地域の観光・宿泊の拠点として機能し、周遊観光ルートの魅力を支える観光コンテンツの提供を行う。面的な観光プロモーションと周遊観光の促進により、単独で施策経費を負担するより効率的に誘客の促進が可能となる。</p> <p>【鯺ヶ沢町・深浦町・西目屋村・大鰐町・田舎館村・板柳町・鶴田町】 法人の会員として運営に関わり、人員を派遣する。 周遊観光ルートの魅力を支える観光コンテンツの提供を行うほか、白神山地や日本海、スキーリゾートなどを活かした宿泊地として機能する。面的な観光プロモーションと周遊観光の促進により、単独で施策経費を負担するより効率的に誘客の促進が可能となる。</p> <p>【中南地域県民局・西北地域県民局】 各県民局の観光事業と連携して、双方にとってより効果的な事業展開や情報発信を目指す。</p>
(4) 政策・施策間連携	<p>単一の政策・施策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策・施策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であること又は利用者から見て意味あるワンストップ型の窓口等の整備を行う事業であること。</p> <p>政策・施策間連携のポイント</p>	<p>中南・西北津軽地域の14市町村が一つの圏域となり観光振興を行うことで、旅行者が圏域全体を周遊する際の利便性向上にかかわる公共交通施策との連携や、地域ならではの食材・土産物といった特産品の消費、伝統産業の体験などによる産業振興施策との連携を想定している。</p> <p>また、事業者や地域住民と接する体験型観光コンテンツの展開を通じて、関係人口の増加施策との連携も狙う。想定される具体的な各分野との連携は下記のとおり。</p> <p>【公共交通】 ローカル線である弘南鉄道や津軽鉄道、域内を網羅する地域の路線バスとの連携により、観光目的での利用促進を図るとともに、目的地までの路線・時刻表の検索や乗り継ぎなどの利便性向上、旅行者に向けた運行ルート・運行情報の適切な発信が期待できる。</p> <p>【農林水産業】 高付加価値化を目的とした六次産品化による特産品の開発だけでなく、農業・漁業体験や園地・漁場等の活用、地域の収穫物を活かした伝統料理などの体験型旅行コンテンツ化を通じて、地域の食材や文化に対する理解を深めてもらうことで、事業者の収益性拡大や後継者不足の解決に寄与することが期待できる。</p> <p>【商工業・伝統産業】 伝統産業と他業種の連携により、時代に合った新たな商品の開発・情報発信を行うほか、地域の伝統工芸に対する理解を深めてもらうことで、事業者の収益性拡大や後継者不足の解決に寄与することが期待できる。</p> <p>連携政策・施策① 【公共交通】 3年間を通じ、体験型旅行コンテンツの予約販売システムや宿泊関連データ分析システムの活用により、旅行者の動態分析ができることから、バスや電車の運行ダイヤの適正化の検討、旅行者に向けた運行ルート・運行情報の適切な発信に活かすことを狙う。</p> <p>連携政策・施策② 【農林水産業・商工業・伝統産業】 3年間を通じ、農林水産業と連携して、体験型旅行コンテンツや高付加価値化した特産品、新メニューを開発することで、旅行者の消費拡大による事業者の収益向上や後継者不足の解決に寄与することを狙う。 また、商工業や伝統産業と連携して商品開発や体験型旅行コンテンツを開発し、(一社) Clan PEONY 津軽の情報発信やプロモーション活動を通じて、圏域の文化をより魅力的な形で発信することで、伝統工芸品の売上向上や後継者不足の解決に寄与することを狙う。</p>

	連携政策・施策③	【雇用促進・関係人口増加】 3年間を通じ、津軽地域に多くの旅行者を誘客して長期間地域に滞在してもらい、宿泊や観光コンテンツの提供、土産物の購入などにより事業者の収益を高めることで、事業者の経営安定化を図り、事業拡大による新たな雇用の創出による若年層の定住者の増加を目指す。 また、滞在中に事業者や地域住民との交流を通じて津軽地域の人や自然、文化、食などの魅力を実感してもらい、地域の課題にふれてもらうことで、関係人口の増加を図る。					
	ワンストップ化の内容	(一社) Clan PEONY 津軽のホームページを通じて地域観光・特産品情報を一括で確認できるほか、体験型旅行コンテンツの予約販売機能を備えることでコンテンツ提供事業者窓口となるため、観光客が津軽地域の観光を検討するにあたり地域の情報にアクセスしやすくなる。 特に独自のホームページや予約販売機能を備えていない小規模事業者の情報をまとめて発信することにより、今まで届けられていなかった魅力的な情報を消費者に届けられる。					
	他省庁補助金等の関連する他政策・施策との連携						
	補助金等の名称	地域観光新発見事業	省庁名	観光庁	予算額	6,000千円	事業実施年度
	連携のポイント	観光庁が有するマーケティングデータを活用して、行政・事業者と連携しながら津軽地域の観光コンテンツの磨き上げやターゲット層に効果的な販路拡大・情報発信を行う。					
(5) デジタル社会の形成への寄与	デジタル社会の形成に寄与することが期待される取組の具体的内容						
デジタル技術の持続的な事業への活用やその普及等(デジタル技術の事業への活用を進めるための普及啓発及びその活用を担う人材の育成をいう。)を推進するための取組を行う事業であること。	取組1	観光DXを活用したマーケティング事業					
	取組2	観光関連事業者向けセミナーの開催					
	取組3	観光情報発信事業					
	デジタル社会の形成に寄与することが期待される理由(以下①～④より選択の上、その理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載) (① デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上、② デジタル人材の育成・確保、③ デジタル基盤整備、④ 誰一人取り残されないための取組)						
	選択	理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載					
	取組1	③	旅行予約サイト運営事業者が収集した宿泊関連データや観光資源のGAP調査を通じて津軽地域の強みや弱みを再整理し、マーケティングアドバイザーの指導の下で(一社) Clan PEONY 津軽のデジタルマーケティング分析能力の向上を図り、観光戦略の策定やターゲット層の選定につなげる。				
	取組2	①	デジタルマーケティング分析により浮き彫りにされた地域課題や地域の観光資源のポテンシャルを事業者と共有し、地域全体でデータに基づく観光振興に取り組む意識を醸成する機会を創出する。				
	取組3	①	デジタルマーケティング分析に基づき選定したターゲット層に効果的に届く情報発信について、活用媒体や発信範囲による効果の違いを実践により確認しながら、性年代別あるいは地域別等で最適な情報発信手法を確立する。				
各取組における目標							
	取組1	津軽地域の観光戦略の策定、ターゲット層の選定					
	取組2	事業終了年度における事業者の参加者数: 60人/年					
	取組3	GDN広告及びInstagram広告によるマイクロコンバージョン(広告経由での(一社) Clan PEONY 津軽ホームページへの遷移)率: 10%					
(6) 事業推進主体の形成	事業推進主体の名称	(一社) Clan PEONY 津軽			設立時期	2020年4月	
事業を実効的・継続的に推進する主体が形成されること。特に様々な利害関係者が含まれつつ、リーダーシップを持つ人材がその力を発揮できる体制を有した推進主体であることが望ましい。	構成メンバー	中南・西北津軽地域14市町村(弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町)のほか、連携団体として弘前大学や地銀を含む民間等の団体約100団体					
	事業推進主体の事業遂行能力	行政による強力なバックアップのもと、必要に応じて各分野の団体と連携して事業に取り組むことができる。					
	経営責任の明確化	一般社団法人であるため、理事長や理事、監事を設置し、経営責任の明確化を図る。					
(7) 地域社会を担う人材の育成・確保	地域独自の人材ニーズ	①市町村や業種の枠に囚われず、津軽地域を1つの圏域として認識し、地域特有の魅力を掘り起こし、プロデュースできる人材 ②マーケティングスキルのある人材 ③津軽圏域の多様な人材とつながりネットワーク化できる人材					
事業を推進していく過程において、地方創生に役立つ人材の育成や確保を目指すものであること。	人材の確保・育成方法	①津軽圏域観光人材育成事業やワーキンググループ、観光関連事業者向けセミナーなど普段の活動を通して、圏域単位で考えることを身に着ける ②アドバイザーを招請して行うデジタルマーケティングの中で素養を身に着ける ③ワーキンググループや観光に関連する勉強会などを通して、異業種交流を促進する					

10. 交付対象事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

外部組織による検証	
検証時期	毎年度 9 月
検証方法	構成14市町村の審議会等にて検証 弘前市総合計画審議会、黒石市総合計画審議会、五所川原市総合計画審議会、つがる市総合戦略推進会議、平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会、鯉ヶ沢町地方創生推進会議、深浦町総合戦略推進委員会、西目屋村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議、藤崎町総合戦略会議、大鰐町総合戦略推進協議会、田舎館村まち・ひと・しごと創生有識者会議、板柳町まち・ひと・しごと総合戦略会議、鶴田町まちひとしごと創生総合戦略審議会、中泊町総合戦略審議会
外部組織の参画者	大学、民間企業等に所属する有識者等
検証結果の公表の方法	各市町村ホームページで公表
議会による検証	
検証時期	毎年度 9 月
検証方法	弘前市: 決算委員会にて報告 黒石市: 決算委員会にて報告 五所川原市: 議員全員説明会にて検証 つがる市: 決算報告と併せて検証 平川市: 決算委員会にて報告 鯉ヶ沢町: 議員全員協議会または産業建設常任委員会にて検証 深浦町: 決算に関する特別委員会にて報告 西目屋村: 議会定例会にて報告 藤崎町: 議員全員協議会または総務産業常任委員会等で報告 大鰐町: 議員全員協議会で検証 田舎館村: 決算委員会にて報告 板柳町: 決算特別委員会にて報告 鶴田町: 議員全員協議会にて検証 中泊町: 決算委員会にて報告